

SU発表会企画書【業務改善分野、顧客満足分野用】

提案日	2026年 6月 30日
タイトル	地域活動を通じた薬剤師の認知症当事者理解と意識変容
発表区分	☐ 業務改善分野 ☒ 顧客満足分野 ※いずれかをチェックする
所属、氏名	薬樹薬局 原町田 土志田 敏伸 薬剤師
1. 現状と課題	
現状の薬局業務だけでは、認知症当事者の理解を深めることが難しい。 そこで、地域活動へ参画し、得られた気づきや経験を日常業務に落とし込む必要がある。 また、地域多職種との連携を維持し、活動をどう継続していくかを考える必要がある。	
2. 目標	
地域活動という薬局外での取り組みを通じ、より患者に寄り添った対人業務を日々遂行できるようにする。 地域多職種と共に「認知症と共に生きる「共生」の地域づくり」に薬局として貢献する。	
3. 改善策・実施内容	
地域活動に参加し得た経験をフィードバックするための場を作る。 地域活動の取り組みを広く知ってもらうため、活動報告の場を作る。 地域活動や多職種との連携を維持・継続するためのチームや仕組み作りを行う。	
4. 評価期間と方法	
評価期間	年度毎
評価方法 評価指標	活動実績（取り組み内容、関わった多職種の所属、参加者の人数と属性）
5. 活動により期待される成果とその展開	
認知症を「他人事から自分事」と捉え、「モノからヒトへ」の意識転換をすることで日々の対人業務の質が上がり、モチベーションの向上にも繋がることが期待できる。 また地域活動や多職種との連携から、地域の「かかりつけ薬局」、「選ばれる薬局」となることで、在宅業務の依頼増加や、地域の相談事などを受けることで信頼関係の構築が期待できる。 このような取り組みを継続し、認知症施策である「認知症とともに生きる「共生」の地域づくり」に貢献をしていく。	
6. 倫理的配慮と個人情報保護	
本取り組みにおいて、発表に用いる写真については参加者からの掲載許可を得たもののみを使用する。 また、個人を特定できないよう十分配慮してデータ保管し、守秘義務を徹底する。	

※ 「研究」に該当する場合は、所定の書式に従い研究計画書を作成して倫理審査申請をしてください。